

令和6年度

# 宮城大学

# 研究・共創フォーラム

参加無料

開催形式

ハイフレックス形式(対面+オンライン)

**対面** 宮城大学大和キャンパス交流棟2階 PLUS ULTRA-

**オンライン** ZOOMウェビナー

※新型コロナウイルス感染症の状況等により  
オンライン開催のみとなる場合があります。

参加定員

**対面** 50名 **オンライン** 200名

※対面、オンライン共に定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込締切

令和6年8月6日(火) 17:00

プログラム

1. 開会あいさつ
2. 趣旨説明
3. 基調講演
4. 情報提供
5. 質疑応答
6. 研究・共創事例の発表
7. 閉会あいさつ

令和6年

8月9日(金)

13:30 - 16:30

宮城大学は、地域への研究シーズの発信や、様々なステークホルダーとの連携を推進する拠点として、「研究推進・地域未来共創センター」を令和3年4月に設立いたしました。

本学の研究シーズや地域との共創事例を紹介し、地域の自治体や企業・団体・医療機関等の皆様とのさらなる連携の機会を創出することを目的に、「令和6年度宮城大学研究・共創フォーラム」を開催いたします。



公立大学法人

宮城大学  
MIYAGI UNIVERSITY

プログラム詳細、参加方法等は裏面をご覧ください➡

# 宮城大学 研究・共創 フォーラム プログラム

13:30 - 13:35	<b>開会あいさつ</b> 学長 佐々木 啓一
13:35 - 13:40	<b>趣旨説明</b> 理事・副学長 研究推進・地域未来共創センター長 風見 正三
13:40 - 14:00	<b>基調講演「大崎市と宮城大学の連携について～大崎市の未来に向けて～」</b> 大崎市市長 伊藤 康志 氏
14:00 - 14:20	<b>情報提供「大崎市との多角的な連携実績と他地域への波及の可能性」</b> 事業構想学群 教授 平岡 善浩
14:20 - 14:30	<b>質疑応答</b>
<hr/>	
14:30 - 14:40	<b>休憩</b>
<hr/>	
	<b>研究・共創事例の発表</b>
14:40 - 14:58	(1)『Gcomsus～G(老年)-com(快適)-sus(持続)～』地域専門職とともに高齢者ケアを創る 看護学群 准教授 沢田 淳子
14:58 - 15:16	(2)地域防災組織と協働した社会貢献活動について 看護学群 准教授 霜山 真
15:16 - 15:34	(3)宮城大学におけるコミュニティ・ベースド・ラーニング(CBL)の現在地: コミュニティプランナープログラムの事例 事業構想学群 准教授 佐々木 秀之
15:34 - 15:52	(4)大型3Dプリンタ技術を用いた資源循環型ものづくり 事業構想学群 准教授 益山 詠夢
15:52 - 16:10	(5)ブルーカーボンを取り巻く持続可能なサーキュラーエコノミーの実現に向けて 食産業学群 教授 西川 正純
16:10 - 16:28	(6)水産植物関連の産学連携の事例と特徴 食産業学群 教授 三上 浩司
	<b>閉会あいさつ</b> 理事長 佐野 好昭

発表者の  
研究内容はコチラ

宮城大学シーズ集



参加方法

**申込期限 令和6年8月6日(火) 17:00**

下記URLまたは右記QRコードよりお申込みください。  
<https://forms.office.com/r/0iyfr5T4AZ>



お問合せ先

宮城大学研究推進・地域未来共創センター  
担当:竹澤 庄子  
TEL:022-377-8319  
E-mail:renkei-kouza@myu.ac.jp